

## 理科学研究部 2025 年度 芝川 環境調査の報告

今年度は、2025 年 7 月に、上流～下流の 6 地点程でパックテストを用いた水質の縦断調査を実施致しました(写真は、砂大橋での調査の様子)。また同月に、鳩ヶ谷大橋(川口市)の周辺の複数地点に特化した水質の追加調査をおこないました。以上の成果は、11 月に開催されました第 53 回埼玉私学文化祭の作品展(研究発表部門)において、ポスター発表をしました(今年度、並行して実施している芝川のプランクトン調査の成果のポスターとあわせて、添付の PDF をご覧ください)。



芝川 砂大橋(さいたま市)での水質調査(2025 年7月23日)の様子

今年度は初の取り組みとして、芝川中流域(宮後橋(さいたま市)の周辺)の数地点を対象に、川岸の植生分布に関する研究に取り組んでいます。8 月と 10 月に現地での植生の調査を実施しました(次ページの写真は、10 月におこなった調査の様子です)。

植生の特徴は、「土壤に生息する生物とも関連性があるのでは？」と考え、12 月に上記の調査地点において土の採取をおこないました。採取した土は、1 月の活動日に顕微鏡での観察を試みました。その結果、想定していた以上に多種多様な生物が見つかりました(次ページに、顕微鏡での観察をしている様子と観察された生物の写真を掲載しています)。昨年 8 月と 10 月の現地調査で確認できた川岸の植物の種類や、今年 1 月の顕微鏡観察で確認できた土壌中の生物の種類について、図鑑等を参考にしながら判定を進めております。以上の成果は、2 月 14 日に埼玉会館で開催されます埼玉県主催の川の再生交流会 2026 のポスターセッションにおいて発表をさせていただきます。





芝川 宮後橋(さいたま市)周辺での川岸の植生調査(2025 年 10 月 4 日)の様子



採取した土に含まれる生物の顕微鏡観察  
(2026 年1月 14 日、本校 生物室にて)



顕微鏡による観察で見つけた生物